学校番号	1015

令和８年度　家庭科

教科	専門家庭	科目	（学）食文化	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	動画でわかるスタートクッキング　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本や世界の食文化について関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
・日本と世界の食文化を通して、食と食文化の多様性を理解します。
・異なる食文化に対して寛容で受容的な姿勢を身につけます。
・実習を取り入れた授業で、食文化を伝承、創造できる能力と実践的な態度を身につけます。
実習には意欲的に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
食文化の成り立ちや日本と世界の食文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする
【思考力、判断力、表現力等】
食生活の現状から食文化に関する課題を発見し、食文化の伝承と創造を合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
食文化の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日本を含めた様々な国の食文化を学ぶことによって歴史や地理的な背景および生活習慣などに理解を深めている。 ・実習を通じて、世界の様々な国の料理を調理する技術を身に着けている	・世界や日本の食に関する知識をもとに、問題を見いだして課題を設定している。 ・設定した課題について、生活改善の工夫を行っている。 ・異なる食文化に対して寛容で受容的な姿勢を身につけている	・自分自身の生活および家庭や地域において、食について問題を見いだした課題に主体的に取り組もうとしている。 ・課題解決に向けた学習を振り返り、改善しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	日本の食文化	食生活の変遷 日本の食文化 日本料理様式の発展、日本の食事マナー 日常食と行事食	a:日本の食文化の歴史的背景を理解している b: 日本の食生活について思考を巡らせ、歴史的な判断から、現在の食生活の問題点を考えようとする。 c:食文化に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。調理実習の班活動で正しい手順で調理作業する。	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート	プリント 振り返りシート
	大阪の食文化	大阪・泉州の食文化、郷土料理 調理実習 日本人が作った洋食和泉地方の料理	a:泉州の食文化の歴史的背景を理解している。 b: 住んでいる地域の食生活について思考を巡らせ、歴史的な判断から、現在の食生活の問題点を考えようとする。 c:食文化に関心を持って意欲的に取り組もうとしている。調理実習での班活動に参加し、正しい手順で調理作業する。	定期考査 確認テスト	定期考査 レポート	プリント 振り返りシート
2学期	世界の食文化	・世界の食文化 ・調理実習	a:世界の食文化の歴史的背景を理解し、食の課題を正しく提起する。 b: 世界の食についての知識をふまえた上で日本の食との関係を考え、現在の食生活の問題点を考える。 c:世界全体の食文化に関心を持って意欲的に取り組もうとしている。調理実習での班活動に参加すし、正しい手順で調理作業する。	定期考査 プリント	定期考査 レポート	プリント 振り返りシート
3学期	食文化の足跡・文化の伝承	食生活の国際化 SDGSを考慮した調理実習 食生活の未来	a:現代の食のありかたを理解し、世界における課題を正しく提起する。 b: 世界の人々の食生活を総合的に考え、今後の食料の問題・栄養摂取面での問題をｸﾞﾛｰﾊﾞﾙな視点で考えようとする。 c:自らの食生活に関心を持って意欲的に取り組もうとしている。調理実習での班活動に参加し、正しい手順で調理作業する。	プリント レポート	定期考査 レポート	プリント レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度